

# 参考資料

(再生可能エネルギー等導入推進基金事業)

1	県立特別支援学校	p 1
2	県立高等学校	p 2
3	尼崎市	p 8
4	西宮市	p 9
5	洲本市	p 10
6	豊岡市	p 12
7	養父市	p 15
8	南あわじ市	p 16
9	淡路市	p 17
10	宍粟市	p 18
11	新温泉町	p 19

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28000-25-2-002			実施主体		兵庫県	
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業						
事業名		兵庫県再生可能エネルギー等導入事業						
対象施設の概要	施設名称	県立姫路しらさぎ特別支援学校(平成26年4月開校)			外観			
	施設区分	特別支援学校						
	住所	〒670-0986 兵庫県姫路市苜編688-58						
	災害時収容人数	約200人	災害時必要電力量等	昼間20.7kWh 夜間11.1kWh				
	災害時の機能	・姫路市の避難所(指定避難所・福祉避難所)						
事業概要	目的・ねらい	<p>○対象施設を選定した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害児童生徒を対象とした特別支援学校であり、障害のある児童生徒への対応ノウハウが災害時に役立つと見込まれること。</li> <li>・姫路市より、開校後は福祉避難所として協定を結びたい旨申し入れがあったこと。</li> </ul> <p>○事業計画上の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時は特別支援学校として、障害のある児童生徒に教育を行い、災害時には福祉避難所として、主に障害のある児童生徒への対応にあたる。</li> </ul> <p>○対象施設のエリアにおいて、どのようなポテンシャルがあるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数200人規模の新設特別支援学校であり、姫路市西部の特別支援教育の中心的役割を果たすセンター校として、周辺学校に在籍する障害のある児童生徒の教育について、周辺学校に指導助言を行うこととなる学校である。</li> </ul> <p>○対象施設の機能強化により目指すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄電システムにより、災害による停電時の夜間でも施設設備の活用を可能にする。</li> </ul> <p>○本事業の最終目的は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に、特別支援学校の施設やノウハウを生かして、地域の障害のある児童生徒へのこころのケア等福祉避難所としての機能を提供する。</li> </ul>						
		導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考	
				太陽光発電システム	91kW	1基		
				再生可能エネルギー①	(うち基金対象11kW)		6,760,000円	
				蓄電池②	リチウムイオン蓄電池	15kWh	1基	(株)GSユアサ
			未利用エネルギー③				17,344,000円	
発電実績	期間	H26.4.1~H27.2.28	CO2削減量	6.7t-CO2				
	発電量	12,844kWh						
事業実施スケジュール	H24年	○実施設計(H24.6~H25.7)						
	H25年	○実施設計 ○工事(9月着工、H26年3月完成) ・入札40社 契約額66,202,500円 ・基金充当分と単独費分の系統は完全に分離させている						
	H26年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等						
	H30年							
	H40年							

平成24年度採択グリーンニューデール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28000-25-2-003-1					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		
事業名		兵庫県再生可能エネルギー等導入事業			兵庫県		
対象施設 の 概要	施設名称	兵庫県立尼崎高等学校			外観 		
	施設区分	学校					
	住所	〒660-0804 兵庫県尼崎市北大物町18-1					
	災害時収容 人数	730	災害時 必要電力量等	屋間23.9kWh 夜間12.6kWh			
	災害時の 機能	尼崎市の指定避難所					
事業概要	目的・ねらい	災害に強いまちづくりをめざし、災害時等に指定避難所として多数の避難者を収容することが可能な各地の県立学校に太陽光発電設備等を導入し、自立分散型・エネルギーシステムを構築する。			事業実施 スケジュール	H25年	○太陽光発電設備工事:30,993,840円 (26年2月17日~26年8月25日)
						H26年	○太陽光発電稼働(8月~)
						H27年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等
						H〇年	
						H〇年	
	導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考	
再生可能 エネルギー①		太陽光発電 システム	20kW	1基	京セラ(株)		
						21,700,000円	
蓄電池 ②		リチウムイオン 蓄電池	15kWh	1基	(株)GSユアサ		
					5,604,000円		
未利用 エネルギー ③							
発電実績	期間	H26.8.5~H27.2.28		CO2削減量	6.6t-CO2		
	発電量	12,739kWh					

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28000-25-2-003-2			実施主体		兵庫県	
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		兵庫県	
事業名		兵庫県再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		兵庫県	
対象施設 の 概要	施設名称	兵庫県立西宮今津高等学校			<div style="text-align: center;">外観</div> 			
	施設区分	学校						
	住所	〒663-8154 兵庫県西宮市浜甲子園4丁目1番5号						
	災害時収容人数	700	災害時必要電力量等	昼間23.9kWh 夜間12.6kWh				
	災害時の機能	西宮市の指定避難所						
事業概要	目的・ねらい	災害に強いまちづくりをめざし、災害時等に指定避難所として多数の避難者を収容することが可能な各地の県立学校に太陽光発電設備等を導入し、自立分散型・エネルギーシステムを構築する。			事業実施スケジュール	H25年	○太陽光発電設備工事:27,982,500円 (25年11月5日～26年3月26日)	
						H26年	○太陽光発電稼働(4月～)	
						H27年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等	
						H30年		
						H30年		
	導入設備	設備内容	設備名	導入容量		導入数量	備考	
再生可能エネルギー①		太陽光発電システム	20kW	1基	パナソニック株			
					16,730,000円			
蓄電池②		リチウムイオン蓄電池	15kWh	1基	パナソニック株			
					8,550,000円			
未利用エネルギー③								
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28		CO2削減量	14.1t-CO2			
	発電量	26,925kWh						

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28000-25-2-003-3					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		
事業名		兵庫県再生可能エネルギー等導入事業			兵庫県		
対象施設 の 概要	施設名称	兵庫県立篠山産業高等学校			外観 		
	施設区分	学校					
	住所	〒669-2341 兵庫県篠山市郡家403-1					
	災害時収容人数	507	災害時必要電力量等	昼間23.9kWh 夜間13.2kWh			
	災害時の機能	篠山市の指定避難所					
事業概要	目的・ねらい	災害に強いまちづくりをめざし、災害時等に指定避難所として多数の避難者を収容することが可能な各地の県立学校に太陽光発電設備等を導入し、自立分散型・エネルギーシステムを構築する。			事業実施スケジュール	H25年	○太陽光発電設備工事:27,300,000円 (25年11月1日～26年3月25日)
						H26年	○太陽光発電稼働(4月～)
						H27年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等
						H30年	
						H30年	
	導入設備	設備内容	設備名	導入容量		導入数量	備考
再生可能エネルギー①		太陽光発電システム	20KW	1基	パナソニック(株)		
						20,294,000円	
蓄電池②		リチウムイオン蓄電池	15kwh	1基	パナソニック(株)		
						6,302,000円	
未利用エネルギー③							
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28		CO2削減量	12.5t-CO2		
	発電量	23,865kWh					

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28000-25-2-003-4					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		
事業名		兵庫県再生可能エネルギー等導入事業			兵庫県		
対象施設 の 概要	施設名称	県立西脇高等学校			外観 		
	施設区分	学校					
	住所	〒677-0054 兵庫県西脇市野村町1794-60					
	災害時収容人数	320	災害時必要電力量等	昼間29.0kWh 夜間13.0kWh			
	災害時の機能	西脇市の指定避難所					
事業概要	目的・ねらい	災害に強いまちづくりをめざし、災害時等に指定避難所として多数の避難者を収容することが可能な各地の県立学校に太陽光発電設備等を導入し、自立分散型・エネルギーシステムを構築する。			事業実施スケジュール	H25年	○太陽光発電設備工事:26,848,500円 (25年11月26日~26年3月27日)
						H26年	○太陽光発電稼働(4月~)
						H27年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等
						H〇年	
						H〇年	
	導入設備	設備内容	設備名	導入容量		導入数量	備考
再生可能エネルギー①		太陽光発電システム	20kW	1基	京セラ(株)		
						18,587,000千円	
蓄電池②		リチウムイオン電池	15kWh	1基	(株)GSユアサ		
						6,685,000円	
未利用エネルギー③							
発電実績	期間	H26.4.1~H27.2.28		CO2削減量	10.8t-CO2		
	発電量	20,734kWh					

平成24年度採択グリーンニューデール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28000-25-2-003-5					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		
事業名		兵庫県再生可能エネルギー等導入事業			兵庫県		
対象施設 の 概要	施設名称	県立赤穂高等学校			外観 		
	施設区分	学校					
	住所	〒678-0225 兵庫県赤穂市海浜町139					
	災害時収容 人数	700	災害時 必要電力量等	昼間29.0kWh 夜間13.0kWh			
	災害時の 機能	赤穂市の指定避難所					
事業概要	目的・ねらい	災害に強いまちづくりをめざし、災害時等に指定避難所として多数の避難者を収容することが可能な各地の県立学校に太陽光発電設備等を導入し、自立分散型・エネルギーシステムを構築する。			事業実施 スケジュール	H25年	○太陽光発電設備工事:24,990,000円 (平成25年11月15日～平成26年3月24日)
						H26年	○太陽光発電稼働(4月～)
						H27年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等
						H〇年	
						H〇年	
	導入設備	設備内容	設備名	導入容量		導入数量	備考
再生可能 エネルギー①		太陽光発電システム	20kW	1基	パナソニック株		
						17,792,000円	
蓄電池 ②		リチウムイオン蓄電池	15kWh	1基	パナソニック株		
						6,409,000円	
未利用 エネルギー ③							
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28	CO2削減量	14.3t-CO2			
	発電量	27,443kWh					

平成24年度採択グリーンニューデール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28000-25-2-003-6					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		
事業名		兵庫県再生可能エネルギー等導入事業			兵庫県		
対象施設 の 概要	施設名称	県立日高高等学校			外観 		
	施設区分	学校					
	住所	〒669-5302 兵庫県豊岡市日高町岩中1					
	災害時収容 人数	500	災害時 必要電力量等	昼間16.1kWh 夜間12.4kWh			
	災害時の 機能	豊岡市の指定避難所					
事業概要	目的・ねらい	災害に強いまちづくりをめざし、災害時等に指定避難所として多数の避難者を収容することが可能な各地の県立学校に太陽光発電設備等を導入し、自立分散型・エネルギーシステムを構築する。			事業実施 スケジュール	H25年	○太陽光発電設備工事:24,496,500円 (平成25年11月26日～平成26年3月26日)
						H26年	○太陽光発電稼働(4月～)
						H27年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等
						H〇年	
						H〇年	
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考		
		再生可能 エネルギー①	太陽光発電システム	10kW	1基	パナソニック株	
						15,420,000円	
		蓄電池 ②	リチウムイオン蓄電池	15kWh	1基	パナソニック株	
					8,281,000円		
未利用 エネルギー ③							
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28	CO2削減量	4.1t-CO2			
	発電量	7,859kWh					

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		事業メニュー区分			実施主体	尼崎市		
事業名		公共施設再生可能エネルギー等導入事業						
事業名		尼崎市再生可能エネルギー等導入事業			実施主体	尼崎市		
対象施設 の 概要	施設名称	東消防署					外観 	
	施設区分	消防署						
	住所	尼崎市次屋1丁目9-19						
	災害時収容人数	—	災害時必要電力量等	昼間18kWh 夜間13kWh				
	災害時の機能	消防施設であり、災害時には防災拠点として機能する。						
事業概要	目的・ねらい	災害等による系統電源遮断時にも、情報収集や災害復興活動に必要な電力を供給するために、再生可能エネルギー等を導入するものである。			事業実施スケジュール	H25年	詳細設計(H25.6月) 工事契約入札(H25.9月) 工事(H25.10月～H26.2月) 発電開始(H26.2月～)	
		H26年	事業効果の把握 今後の波及効果の把握					
		H27年						
		H28年						
		H29年						
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考			
	再生可能エネルギー①	太陽光発電システム	11kW	1基	株式会社東芝社製太陽光発電システム			
					費用:13,114,691円(架台等含む)			
	蓄電池②	リチウムイオン蓄電池	6.6kWh	2基	東芝ライテック株式会社製蓄電システム			
					費用:5,528,059円			
未利用エネルギー③								
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28	CO2削減量	6.9t-CO2				
	発電量	13,124.7kWh						

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28204-25-2-001					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業					
事業名		西宮市再生可能エネルギー等導入事業		実施主体	西宮市		
対象施設 の 概要	施設名称	西宮浜小学校 他21校			外観 		
	施設区分	学校					
	住所	〒662-0932 兵庫県西宮市西宮浜4丁目3-12 他					
	災害時収容人数	750~1,970人	災害時必要電力量等	—			
	災害時の機能	・津波避難ビル ・指定避難所					
事業概要	目的・ねらい	<p>・津波避難ビルに指定されている市立学校22校において、緊急用進入門等への誘導灯として、蓄電池を併設した太陽光発電により点灯する街路灯を設置。</p> <p>・蓄電池を併設していることで、地震等災害に伴う停電時にも誘導灯として機能することから、避難路の確保に有効である。</p> <p>・なお、当該22校については、夜間等の学校閉鎖時においても学校内に進入し、校舎内3階以上に避難することができるよう、門やサッシの改修工事を平成24年度に行っている。</p>			事業実施スケジュール	H25年	○設計委託(5月~6月) 計494,550円 ・見積合せ(2社) 校種別3件 ○工事入札(6月) ・11社応札 ○設置工事(6月~9月) 計17,878,350円 ・22箇所
		H26年	○機能の確認				
		H〇年					
		H〇年					
		H〇年					
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考		
	再生可能エネルギー①	太陽光発電・蓄電池併設型LED灯	85W	22基	(株)因幡電機製作所製ソーラー照明		
	蓄電池②						
	未利用エネルギー③						
	発電実績	期間	H26.4.1~H27.2.28	CO2削減量	—		
発電量	—						

平成24年度採択グリーンニューデール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28205025-2-001					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		
事業名		洲本市再生可能エネルギー等導入事業			洲本市		
対象施設 の 概要	施設名称	洲本市健康福祉館(みなと元気館)			外観   		
	施設区分	市庁舎					
	住所	洲本市港2-26					
	災害時収容 人数	100人	災害時 必要電力量等	昼間13kWh 夜間11kWh			
	災害時の 機能	指定避難所、福祉避難所、災害対策本部第2候補 保健業務の拠点					
事業概要	目的・ねらい	洲本市健康福祉館(みなと元気館) 本施設は地域防災計画で福祉避難所に指定されているため災害時要援護者に配慮した避難所として設備の充実を図る必要があります。 また、被災者の健康チェックをするなど、保健業務の拠点としての活動や災害対策本部の第二候補地としても指定しています。 以上のことから、災害時の重要施設として、必要最低限の機能を維持することを目的として太陽光発電・蓄電システムを導入したものです。			事業実施 スケジュール	H25年	H25.9.19:設計・監理業務委託入札 H25.9.20:設計・監理業務委託契約 H26.2.18:太陽光発電蓄電システム設置業務入札 H26.2.28:整備工事契約 H26.3.1:太陽光発電蓄電システム整備工事着手 H26.3.28:整備工事変更契約 (工期延長及び増税による金額変更)
		H26年	H26.6.30:工事完成、太陽光発電稼働 事業効果の把握 波及効果の把握				
		HO年					
		HO年					
		HO年					
	導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考	
再生可能 エネルギー①		太陽光発電システム	10kw	1基	パナソニック(株)		
						12,235千円	
蓄電池 ②		リチウムイオン蓄電池	15kwh	1基	パナソニック(株)		
					9,455千円		
未利用 エネルギー ③							
発電実績	期間	H26.7.1~H27.2.28	CO2削減量	3.21 t-CO2			
	発電量	6,155kwh					

平成24年度採択グリーンニューデール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28205025-2-002					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		
事業名		洲本市再生可能エネルギー等導入事業			洲本市		
対象施設 の 概要	施設名称	五色地域福祉センター(みやまホール)			外観  		
	施設区分	市福祉施設					
	住所	洲本市五色町広石中90-5					
	災害時収容人数	80人	災害時必要電力量等	昼間9.8kwh 夜間8.6kwh			
	災害時の機能	指定避難所、福祉避難所					
事業概要	目的・ねらい	五色地域福祉センター(みやまホール) 本施設は地域防災計画、福祉避難所として指定されており、災害時要援護者に配慮された避難所として空調等の設備の機能を維持する必要があります。 また、南海トラフ巨大地震などの被害想定では津波災害などにより電力の早期復旧が困難な地域とされています。 以上のことから、避難施設の必要最低限の機能を長期間維持させることを目的として太陽光発電・蓄電システムを導入したものです。			H25年	H25.9.19:設計・監理業務委託入札 H25.9.20:設計・監理業務委託契約 H26.2.18:太陽光発電蓄電システム設置業務入札 H26.2.28:整備工事契約 H26.3.1:太陽光発電蓄電システム整備工事着手 H26.3.28:整備工事変更契約 (工期延長及び増税による金額変更)	
					H26年	H26.6.30:工事完成、太陽光発電稼働 事業効果の把握 波及効果の把握	
					事業実施スケジュール	H〇年	
					H〇年		
					H〇年		
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考		
	再生可能エネルギー①	太陽光発電システム	10kw	1基	パナソニック(株)		
						11,590千円	
	蓄電池②	リチウムイオン蓄電池	15kwh	1基	パナソニック(株)		
					9,498千円		
未利用エネルギー③							
発電実績	期間	H26.7.1~H27.2.28	CO2削減量	3.95 t-CO2			
	発電量	7,572kwh					

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28209-24-2-001				
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業				
事業名		豊岡市再生可能エネルギー等導入事業				
		実施主体		豊岡市		
対象施設 の 概要	施設名称	日高防災公園				
	施設区分	公園				
	住所	〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布954-3				
	災害時収容 人数	1,300人	災害時 必要電力量等	昼間 7.9kwh 夜間 4.8kwh		
	災害時の 機能	○施設の果たすべき機能等 地域住民の生活等に不可欠な都市機能を維持することが必要な施設(一時避難場所)				
事業概要	目的・ねらい	○対象施設を選定した経緯・理由 地域住民の生活等に不可欠な都市機能として、日高地域の中心地に、通常時はいこいの場となる公園として、災害時は一時避難場所としての機能を有する施設を設置することとした。		事業実施 スケジュール	H24年	○太陽光発電連系型蓄電池システム等業務委託:378,000円
					H25年	○太陽光発電3.22kW×1基(11月着工、2月完了): 9,665,250円 ○太陽光発電稼働(平成26年3月～)
					H26年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等
					H〇年	
					H〇年	
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考	
	再生可能 エネルギー①	太陽光発電システム	3.22kW	1基	カネカ社製太陽光発電システム(115W×28枚=3,220W): 4,013千円	
	蓄電池 ②	業務用リチウムイオン蓄電池	5.5kWh	1基	SONY社製蓄電池:2,100千円	
	未利用 エネルギー ③					
	発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28	CO2削減量	1.66t-CO2	
	発電量	3,180kWh				

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28209-25-2-002			
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			
事業名		豊岡市再生可能エネルギー等導入事業			
		実施主体		豊岡市	
対象施設 の 概要	施設名称	日高防災公園			
	施設区分	公園			
	住所	〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布954-3			
	災害時収容 人数	1,300人	災害時 必要電力量等	-	
	災害時の 機能	○施設の果たすべき機能等 地域住民の生活等に不可欠な都市機能を維持することが 必要な施設(一時避難場所)			
事業概要	目的・ねらい	○対象施設を選定した経緯・理由 地域住民の生活等に不可欠な都市機能として、日高地 域の中心地に、通常時はいこいの場となる公園として、災 害時は一時避難場所としての機能を有する施設を設置す ることとした。			
		事業実施 スケジュール	H24年		
			H25年	○ソーラー照明灯3基(11月着工、2月完了) ○稼働(平成26年3月~)	
			H26年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等	
			H〇年		
H〇年					
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考
	再生可能 エネルギー①	ソーラー照明灯	140W	3基	GSユアサ製:3,552千円
	蓄電池 ②				
	未利用 エネルギー ③				
発電実績	期間	H26.4.1~H27.2.28		CO2削減量	-
	発電量	-			



平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】事業個票

事業番号		28209-25-2-003				
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業				
事業名		豊岡市再生可能エネルギー等導入事業		実施主体	豊岡市	
対象施設 の 概要	施設名称	地区公民館(中筋、八代、三方、菅谷)				
	施設区分	公民館				
	住所	〒668-0844 兵庫県豊岡市土洲281-1ほか				
	災害時収容 人数	300人	災害時 必要電力量等	-		
	災害時の 機能	○施設の果たすべき機能等 地域住民の生活等に不可欠な機能を維持することが必要な施設(一時避難場所)				
事業概要	目的・ねらい	○対象施設を選定した経緯・理由 地域住民の生活等に不可欠な機能として位置付けられている地区公民館を、災害時は一時避難場所としての機能を有する施設とする。				
		事業実施 スケジュール	H24年			
			H25年	○ソーラー照明灯4基の設置開始(1月着工、3月完了): 7,528,500円 ○稼働(平成26年3月~)		
			H26年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等		
			H〇年			
	H〇年					
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考	
	再生可能 エネルギー①	ソーラー照明灯	140W	4基	GSユアサ製:7,529千円	
		蓄電池 ②				
		未利用 エネルギー ③				
	発電実績	期間	H26.4.1~H27.2.28	CO2削減量	-	
発電量		-				



平成24年度採択区グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28222-24-2-001				
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業				
事業名		養父市再生可能エネルギー等導入事業		実施主体	養父市	
対象施設 の 概要	施設名称	養父市庁舎				
	施設区分	市庁舎				
	住所	〒667-8651 兵庫県養父市八鹿町八鹿1675				
	災害時収容 人数	—	災害時 必要電力量等	(昼間) 5.74Wh/日 (夜間) 14.54kWh/日		
	災害時の 機能	○施設の果たすべき機能等 ・養父市災害対策本部 商用電源の供給停止時における最小限の照明、PC等のOA機器の稼働用 ・情報発信基地				
事業概要	目的・ねらい	○対象施設を選定した経過・理由。 過去の台風災害時に、河川氾濫などによる浸水被害や、土木災害などにより停電が発生し、本庁舎の防災拠点としての防災機能が著しく低下した経験がある。 ○事業計画上の位置付け。 平成18年3月に「養父市地域防災計画」を策定し、その基本理念の一つに「災害に強いまちをつくる」として、太陽光発電システムの普及促進を掲げている ○対象施設の機能を強化させることにより、目指すもの。 電力供給の自立化による必要最低限の非常用電源を確保し、災害情報の収集や応急対応の指示など遅滞なく迅速に行う ○対象施設のエリアにおいて、どのようなポテンシャルがあるか。 市の防災機能の強化と再生可能エネルギーを利用し、さらに有効に活用できる蓄電地を導入することで、市民・事業者による再生可能エネルギー導入に向けた波及効果をもたらす ○そのポテンシャルを生かすため、どのような設備を導入するか。 太陽光発電システム及びリチウムイオン蓄電池 ○本事業の最終目的は何か。等 導入の蓄電では、庁舎全体・長時間の電源供給は無理であり、他の施策による防災拠点機能強化の一部であり、緊急時に於ける複数系統の一つである。				
		事業実施 スケジュール	H24年	○太陽光発電設備・蓄電池設備設置工事設計監理業務(1月) ○太陽光発電設備・蓄電池設備設置工事(3月)		
			H25年	○太陽光発電 11.18kw、 リチウムイオン蓄電池 15.0kwh×1基 (4月着工、9月完了) ○太陽光発電設備・蓄電池設備稼働(9月～)		
			H26年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等		
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考	
	再生可能 エネルギー①	太陽光発電 システム	11.18kW	1基	パナソニック株式会社 7,303千円	
		蓄電池 ②	リチウムイオン 蓄電池	15.0kWh	1基	パナソニック株式会社 7,817千円
	未利用 エネルギー ③					
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28		CO2削減量	4.8t-CO2	
	発電量	9,240kWh				



平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28224-24-2-001						
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体			
事業名		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			南あわじ市			
対象施設 の 概要	施設名称	福良小学校			外観  			
	施設区分	学校						
	住所	〒656-0552 兵庫県南あわじ市福良乙1205						
	災害時収容人数	410人	災害時必要電力量等	昼間15.1kWh 夜間12.3kWh				
	災害時の機能	○ 現地指揮所として災害時に即時対応し、機能する ○ 市の指定避難所(福良小学校)						
事業概要	目的・ねらい	○ 災害時に於いて、現地对策本部を文化体育館に置いているが、若干離れており、現地指揮所とし、災害時の現地对策指揮所及び避難所として機能に位置づけ。 ○ 公共施設(学校)であり、避難所も兼ね備えた情報伝達並びに指揮所として位置づけている。 ○ 市内にある、屋外拡声器などを使い、情報伝達に利用するための機器整備をしている。 ○ 災害時に於ける、適切な現地での指揮活動と地域住民の拠点避難所として最大限に機能を発揮する。			事業実施スケジュール	H24年	○太陽光発電事業の実施計画策定(9月) ○実施設計業務委託(H25.12月発注) C=919千円(901千円) ・スケジュールの都合上、今年度は太陽光発電の設計のみを行う。	
		H25年	○太陽光発電設備設置工事実施 (太陽光発電20kWh/日・蓄電池15kWh/日) 11月発注、3月完成(指名競争入札 予定) C=37,023千円(33,451千円) ○監理委託業務 C=924千円(832千円)					
		H26年	○太陽光発電設備設 稼働(4月) (太陽光発電20kWh/日・蓄電池15kWh/日) ○効果の検証及び把握					
		H27年						
		H28年						
導入設備	設備内容	設備名	太陽光発電	導入容量	20kW	導入数量	1基	太陽光発電システム(NEC)
		再生可能エネルギー①						14,800千円
		蓄電池②	リチウムイオン電池	15kWh		1基	蓄電池システム(NEC)	18,600千円
		未利用エネルギー③						
	発電実績	期間	H26.4.1~H27.2.28		CO2削減量	12.0 t-CO2		
	発電量	22,989kWh						

平成24年度採択グリーンニューデール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28226-25-2-001					
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体		
事業名		淡路市再生可能エネルギー等導入事業			淡路市		
対象施設の概要	施設名称	淡路市中央公民館			外観 		
	施設区分	中央公民館					
	住所	淡路市志筑3117-1					
	災害時収容人数	200人	災害時必要電力量等	昼間7kWh 夜間3.2kWh			
	災害時の機能	災害時の一次避難所となるため、室内電灯等必要最小限での対応とする。					
事業概要	目的・ねらい	・淡路市では、災害時の避難所として64箇所を指定している。 平成25年度の事業計画施設は、比較的住民が多く住んでいる中心的な場所に位置し、平時は公民館として活用している。 災害時は一次避難所となるため、室内電灯等必要最小限での対応とする。			事業実施スケジュール	H25年	○太陽光発電事業入札(9月) ○太陽光発電事業設計(10月) ○太陽光発電事業施工(12月着手、3月)
		H26年	○事業効果の把握 ○今後の波及効果の把握 等				
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考		
	再生可能エネルギー①	太陽光発電	4.89kW	1基	パナソニック株式会社		
		システム			4,478千円		
	蓄電池②	蓄電池	4.65kWh	1基	パナソニック株式会社		
					1,035千円		
未利用エネルギー③							
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28	CO2削減量	3.33t-CO2			
	発電量	6,379.8kWh					

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28227-24-2-001						
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業			実施主体			
事業名		宍粟市再生可能エネルギー等導入事業			宍粟市			
対象施設 の 概要	施設名称	宍粟市小水力・太陽光発電設備			外観  			
	施設区分	宍粟市役所(北庁舎)						
	住所	〒671-2593 兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番6						
	災害時収容人数	50名	災害時必要電力量等	約60kwh (昼35kwh・夜25kwh)				
	災害時の機能	○施設の果たすべき機能等 ・乳幼児及び高齢者等の避難所及び情報発信 ・医療施設及び各保健センター、市民局等との連携						
事業概要	目的・ねらい	保健・福祉部門が所在する市役所北庁舎は、災害時には市内在住の要援護者の安否確認や各保健センターとの連絡調整機能が特に求められている。 太陽光発電システムと、小水力発電システムを蓄電池と一体として整備することで、天候に左右されないより安定した電力供給が可能となり、市民の安全・安心の確保に寄与する。				事業実施スケジュール	H25年	○小水力・太陽光発電システム整備工事基礎調査業務 ・公募、契約(8月) ○小水力・太陽光発電システム整備工事 ・公募(9月)・契約(10月)・設計、施工業務開始(11月) ・水力発電施設整備工事等(12月～) ・太陽光発電施設整・蓄電池システム整備工事(1月～)
		H26年	H26.4: 発電稼働 事業効果の把握 今後の波及効果の把握					
		H〇年						
		H〇年						
		H〇年						
	導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考		
再生可能エネルギー①		太陽光発電システム	16kW	1基	駐車場周辺に設置 8,844千円			
		小水力発電システム	1kW	2基	市役所横水路に設置 12,642千円			
蓄電池②		リチウムイオン蓄電池	11kWh	1基	北庁舎に設置 12,600千円			
未利用エネルギー③								
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28		CO2削減量	9.9t-CO2			
	発電量	19,000kWh						

平成24年度採択グリーンニューディール基金事業【完成事業個票】

事業番号		28586-25-2-001				
事業メニュー区分		公共施設再生可能エネルギー等導入事業				
事業名		新温泉町再生可能エネルギー等導入事業		実施主体	新温泉町	
対象施設 の 概要	施設名称	湯村温泉観光交流センター 薬師湯				
	施設区分	温浴施設 他				
	住所	〒669-6821 兵庫県美方郡新温泉町湯1604				
	災害時収容 人数	80人	災害時 必要電力量等	昼夜12.6kw		
	災害時の 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所（H25年4月1日 指定） 高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者等、一般的な避難所では避難生活において、何らかの配慮を必要とする者で、介護保険施設や医療機関等に入所・入院するに至らない程度の要援護者を対象とします。</li> <li>・最低限の館内照明の確保</li> <li>・モバイル機器の電源確保</li> <li>・入浴サービスの提供</li> </ul>				
事業概要	目的・ねらい	[目的] 町の特性を生かした再生可能エネルギーの活用により、災害に強い自立した町づくりを目指すと共に、環境に優しい町づくりと環境改善の意識醸成を育むことを目指します。		事業実施 スケジュール	H25年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温泉バイナリー発電施設整備事業公募（9月）</li> <li>○企画提案の審査(11月)</li> <li>○仮契約(12月)</li> <li>○本契約(1月)</li> <li>○実施設計(1月)</li> <li>○施工(2～3月)</li> </ul>
		[経過・理由 等] 湯村温泉は高温な温泉が豊富に湧出しており地元住民への配湯事業を始め様々な活用が図られています。整備予定箇所の「湯村温泉観光交流センター薬師湯」は、公共の温泉施設として運営されており、敷地には駐車場やイベント広場等の広いスペースが確保されています。又、施設の1階は温泉入浴施設、2階は集会場の機能を有していると共に、湯財産区の事務所や会議場も備えており、地域の中核施設として運営されています。			H26年	○稼働(4月～)
		災害時における住民の避難場所として、又被災者への入浴サービスなど憩いの空間の提供に努めるとともに、物資供給等の支援拠点として地域防災計画では福祉避難所に位置づけられています。			H27年	
		既存の電力系統に依存しない自立型エネルギー施設である温泉バイナリー発電の導入により、地域の防災拠点としての機能を更に高め、非常時において、様々な生活機器、医療機器、情報通信機器などの電源利用など、住民の生活や安全の確保のため、更には施設の運用により避難者の健康保持に努めるための緊急用エネルギーとして活用していきます。			H28年	
					H29年	
導入設備	設備内容	設備名	導入容量	導入数量	備考	
	再生可能 エネルギー①	温泉バイナリー発電施設	20kW	2基	(株)IHI 74,550千円	
		蓄電池②	リチウムイオン蓄電池	15kWh	1基	パナソニック(株) 6,300千円
		未利用 エネルギー③				
発電実績	期間	H26.4.1～H27.2.28	CO2削減量	64.19t-CO2		
	発電量	122,963.1kWh				

